

教 科	生活支援技術	学科・学年	総合選択・3年	単位数	2 単位
目 標	生活支援に関する基本的な知識と技術を習得する。また、利用者が自立した生活を送るための支援方法を理解し、その場面に応じた援助ができるような能力や態度を身に付ける。				
評価方法	・出席状況 ・授業態度 ・提出物 ・定期テスト などの状況から総合して評価する。				
評価観点	【関心・意欲・態度】 要介護者の生活支援に関心を持ち、意欲的に学習する態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 要介護者の状況に応じて、必要な支援方法を判断し、説明できる。 【技能】 要介護者に応じた生活支援技術を安全・安楽に実施することができる。 【知識・理解】 生活支援技術に関する基礎的な知識を身につけ、利用者が自立した生活を送るための支援方法を理解している。				
使用教科書	なし				
使用副教材	なし				
月	学習内容	学習のねらい	学習活動		
4	1 生活支援 2 自立に向けた居 住環境の整備	☐ 生活とは何か、生活支援の対象者やICF（国際生活機能分類）の理念等を理解する。 ☐ ベッドの整え方を理解する。	・講義 ・実習：リネン（タオル・シーツ・パジャマなど）のたたみ方 ベッドメイキング		
5	4 自立に向けた移 動の介護	☐ 移動の意義と目的、基礎知識を理解する。 ☐ 移動における介護の基本を理解する。 ☐ 安全で的確な移動の介助の方法を習得する。	・講義 ・実習：ボディメカニクス ・実習：体位変換、車いす移動、杖歩行等		
6	2 自立に向けた居 住環境の整備 3 自立に向けた身 じたくの整備	☐ ベッドの整え方を理解する。 ☐ 身じたくの意義と目的、基礎知識を理解する。 ☐ 身じたくの介護の基本を理解する。 ☐ 衣生活の介助の方法を習得する。	・実習：シーツ交換、 利用者が寝たまま状態でのシーツ交換 ・講義 ・講義、実習：脱健着患 ・実習：衣服（浴衣、かぶり式パジャマ、前開き式パジャマ）の着脱		
7	6 自立に向けた入 浴・清潔保持の介護	☐ 清潔保持の意義と目的、基礎知識を理解する。 ☐ 爽快感・安楽を与える介護を理解する。 ☐ 清潔保持の介助の方法を理解する。	・講義 ・期末テスト [点] ・自己評価 A ☐ B ☐ C ☐ ・講義 ・講義		
反省					
7・8	【夏季休業】				

8・9	6 自立に向けた入浴・清潔保持の介護	☐ 清潔保持における介助の方法を理解する。 ☐ 利用者の状況に応じた清潔保持の方法を選択し、実施することができる。	・講義 ・実習：部分浴（手浴、足浴）
10	5 自立に向けた食事の介護	☐ 食事の意義と目的を理解する。 ☐ 栄養に関する基礎知識を理解する。 ☐ 安全で的確な食事介助の方法を習得する。	・講義 ・講義 ・実習：食事形態、食事介助 ・中間テスト [点] ・講義
11	7 自立に向けた排泄の介護	☐ 排泄の意義と目的を理解する。 ☐ 排泄支援の基本を理解する。 ☐ 排泄支援の方法を理解する。 ☐ 自立に向けた排泄支援を理解し、実践する。	・講義 ・講義 ・実習：尿器、便器での介助、ポータブルトイレ介助
12	7 自立に向けた排泄の介護 【冬季休業】	☐ 自立に向けた排泄支援を理解し、実践する。	・期末テスト [点] ・自己評価 A□ B□ C□ ・実習：おむつ交換（布・紙）
反省			
1	9 自立に向けた睡眠の介護	☐ 睡眠の意義と目的、介護の基本を理解する。 ☐ 安眠を促す介助方法を習得する。	・講義 ・実習：安楽体位の保持 電法（冷電法・温電法）
2	2 自立に向けた居住環境の整備	☐ 高齢者における多様な住まい形態を理解し、住宅と施設における居住環境整備の違いを理解する。 ☐ ユニバーサルデザインについて理解する。	・講義 ・講義 ・学年末テスト [点] ・演習：身の回りのユニバーサルデザイン商品 ・自己評価 A□ B□ C□
3			
反省			